

あいさつ

春光天地に満ち、新緑萌えいする、素晴らしい好季節がやってまいりました。

今日ここに、第二十回菊乃扇流舞踊大会が、県都甲府市におきまして、盛大に開催されましたことを、心より喜びいたします。

家元、菊乃扇寿美紀師匠のもと、幹部指導部の皆様方二十八人、及び、会員の皆様方等々、日々実践躬行、社会を愛し、福祉を愛し、その実践の日々、たゆまぬ努力に、心より賛辞を贈ります。

「今日もまた、心もやしてレッスンに、

共に歩みて、積みにし日々を（日々の歩みに寄せて）」

本日の集大成、毎月毎月一堂に会し、そのレッスンの発表です。どうぞ皆様方、心に残る一ページにしてください。

詰びに、皆様方の益々の「発展」、「変わらぬ」支援、「協力をお願い申し上げ、会長あいさつとさせていただきます。

菊乃扇流 会長 杉 本 健

山梨県菊乃扇流
家元 菊乃扇寿美紀
日本民踊 新舞踊協会
教授 日野谷紀美子

〒400-0337
山梨県南アルプス市寺部1923-1
TEL 055-283-2547
TEL 055-283-2762

菊乃扇流 舞踊大会

二十周年記念リハーサル 令和七年三月二日(日)

会場：山梨県立総合文化会館
開場：午前十時半
収録：山梨日新劇社収録



入場無料

第一部 (午前十時三十分)

- 一 菊乃扇音頭 会員一同
- 二 おまほすまあいがう 指導部
- 三 松の木小唄 寿美紀会
- 四 南アルプスあしたの夢 寿美紀会
- 五 ひなげし小唄 寿美紀会
- 六 ゆきの宿 寿美紀会
- 七 淡墨桜 寿美紀会
- 八 星空に両手をあげて 寿美紀会
- 九 天竜育ち 寿美紀会
- 十 桂笠音頭 寿美千真会
- 十一 甲州つまり唄 寿美紀会
- 十二 人 静 寿紀久乃会
- 十三 笛吹川 寿美紀会
- 十四 金無川 寿美紀会
- 十五 武田節 寿美千真会 師範
- 十六 月見草 寿美紀会
- 十七 雪椿 寿紀久乃会
- 十八 雷鳴 寿美紀会 名取
- 十九 思い出の川 寿美紀会 名取
- 二十 热き血汐 寿美紀会 師範
- 二十一 百年桜 寿美千真会 師範
- 二十二 武田節 寿美加会 師範
- 二十三 雪舞の宿 寿美紀会 地区代行
- 二十四 純情花吹雪 東京福生教室 東京地区代行

六曲 (午後二時三十分)

司会 青木眞紀子

- 一、開式のことば 地区代行 菊乃扇寿美紀寿
- 一、挨拶 拶家元 菊乃扇寿美紀
- 一、挨拶 拶家元 菊乃扇流会長
- 一、来賓祝辞 山梨県知事 杉本健
- 一、来賓祝辞 自由民主党議院議員 長崎幸太郎
- 一、来賓祝辞 甲府市長 中谷真一
- 一、来賓祝辞 南アルプス市長 楠口雄一
- 一、来賓祝辞 教授師範 菊乃扇寿美加
- 一、開式のことば 師範 菊乃扇寿美紀千

第二部 (午後二時)

- 一 群生の弦 寂元 菊乃扇寿美紀
- 二 絵馬生島より雪の舞 東京福生教室 山崎紗緒里
- 三 兜 寿美紀会 名取 菊乃扇寿美紀高
- 四 薄幸花 寿美紀会 名取 菊乃扇寿美紀久
- 五 お梶 寿美紀会 師範 菊乃扇寿美紀洋
- 六 蘭蝶しぐれ 寿美千真会 師範 菊乃扇寿美千真
- 七 好色五人女よりお七 寿美紀会 東京地区代行 菊乃扇寿美紀千
- 八 光る君への物語 寂元 菊乃扇寿美紀

第三部 (午後二時四十分)

- 一 阿国舞扇 寿美紀会 齐藤明子 田中皆江 河西タミ子
- 二 幸せごごろ 寿美紀会 河野百合子
- 三 人生讃歌 寿美紀会 東京福生教室 山崎紗緒里 宮川知規
- 四 みちのくの宿 寿美紀会 野田勝子 熊谷静子 飯窪しげ子 齐藤佐知江
- 五 川の流れのように 紀久乃会 清水加寿子 小林園子 野中栄子 風間静江 三木さと子
- 六 夫婦鶴 寿美紀会 齐藤明子
- 七 寿舞扇 寿美紀会 田中皆江
- 八 武田節 寿美紀会 河西タミ子
- 九 清滝川 寿美紀会 齐藤明子
- 十 津軽じよんがら 東京福生教室 東京地区代行 菊乃扇寿美紀千
- 十一 百年桜 寿美紀会 名取 菊乃扇寿美紀高
- 十二 ふたりの花 寿美紀会 名取 菊乃扇寿美紀久
- 十三 恋いちりん 寿美千真会 師範 菊乃扇寿美千真 中根美結
- 十四 男の絶唱 寿美紀会 師範 菊乃扇寿美紀洋
- 十五 みだれ髪 寿美加会 教授師範 菊乃扇寿美加
- 十六 暁月夜 東京福生教室 東京地区代行 菊乃扇寿美紀千 山崎紗緒里 宮川知規
- 十七 阿国舞扇 寿美紀会 地区代行 菊乃扇寿美紀寿